

2025 年度取締役会の実効性評価結果

株式会社パソナグループ

当社は取締役会のガバナンス機能のさらなる向上を目的として、毎年、取締役会全体の実効性評価を実施しております。評価方法及び評価結果の概要については、以下のとおりです。

1. 評価方法

当社は毎年、取締役会全体の実効性評価について取締役全員を対象としたアンケート調査を実施しております。2025 年度についても 2026 年 4 月に取締役に対して、以下の項目を内容とするアンケート調査を実施しました。

2025 年 4 月に経済産業省から出された“「稼ぐ力」を強化する取締役会 5 原則”、2026 年 7 月に予定されているコーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を受け、アンケート項目の一部見直しを行っております。

評価及び分析結果は取締役会へ報告・審議し、その結果を踏まえ、取締役会の実効性をより一層高めるべく、今後の対応について検討しました。(2026 年 5 月)

【評価項目（大項目）】

- ① 取締役自身の職務執行に関する事項
- ② 取締役会全体の実効性に関する事項
- ③ 取締役会の構成に関する事項
- ④ 取締役会の運営状況に関する事項
- ⑤ 取締役会の審議に関する事項
- ⑥ 各種委員会に対する評価に関する事項
- ⑦ 取締役への支援等に関する事項
- ⑧ 投資家・株主との関係に関する事項
- ⑨ 前回評価で課題とされた事項

2. 評価結果

アンケートの結果を踏まえ、取締役会にて報告・審議を行った結果、知識・経験・能力のバランスが取れた多様性のあるメンバーによって自由闊達で建設的な議論・意見交換がなされるなど、取締役会の構成、運営、審議、サポート体制、各種委員会の運営及び投資家・株主との関係の点から、取締役会の実効性は十分に確保されているものと評価しました。また、昨年度の課題であった経営戦略・事業戦略に関する報告機会の拡充、取締役会運営の

継続的な改善については概ね適切な対応がなされているものの、各種委員会の活動内容に関する報告機会の拡充、及び DX 推進状況のフォローアップについては引き続き改善が必要であり、経営戦略・事業戦略に関しては事業ポートフォリオ及び資本効率に関する議論拡充が必要との評価が確認されました。

3. 今後の課題

2025 年度のアナケート結果からは、執行側からの事業進捗の報告機会の拡充、取締役会の多様性確保に向けた検討、情報漏洩防止を目的とした社員教育の実施状況の監督、事業ポートフォリオ及び資本効率に関する議論拡充が新たな課題として挙げられました。また、DX 推進状況のフォローアップ、各種委員会の活動内容に関する報告機会の拡充については、引き続き改善が必要と評価しております。

今後も取締役会全体の実効性を更に高めるべく、必要な施策を適宜検討・実行してまいります。

以上